

令和5年度事業報告

公益社団法人 にいがた被害者支援センター

項 目	事 業 内 容	
1 事業方針	犯罪等により被害を受けた被害者やその家族及び遺族に対し、支援活動員による被害者支援活動を行うとともに、県民に対する広報啓発活動を推進し、被害者支援の必要性や重要性を呼び掛け、社会全体の被害者支援意識高揚を図り、被害者支援の輪を広げる。	
2 事業内容	<p>にいがた被害者支援センターは、上記方針に基づき、関係機関、団体等と連携を図りながら以下の活動を行った。また新潟県から性暴力被害者支援センターにいがた(以下「ワンストップ支援センター」という。)の業務委託を受け、その業務の推進を行った。</p> <p>(1) 犯罪被害者等に対する電話相談及び面接相談事業…《公1事業》 (2) 犯罪被害者等への直接支援事業……………《 》 (3) 犯罪被害者等自助グループへの支援事業……………《 》 (4) 犯罪被害者等給付金裁定申請手続補助事業 ……《 》 (5) 犯罪被害者等の支援に関する広報・啓発事業……………《公2事業》 (6) 相談員・直接支援員の育成及び研修事業……………《公3事業》</p>	
3 各事業別計画実施状況		
事業内容	実績、場所等	
(1) 犯罪被害者等に対する電話相談及び面接相談事業	<p>毎週月～金曜日 10:00～16:00(祝日を除く。) ※ワンストップは、令和3年10月から365日24時間対応とし、当センターは祝日を除く毎週月～金曜日9:00～17:00で対応している。</p> <p>新潟ユニゾンプラザ[※]ハート館</p> <p>ア 電話相談 支援活動員2名体制による無料電話相談を実施するとともに、必要に応じて関係機関、団体の紹介を行った。</p> <p>1366件 (+222件) ワンストップ支援センター電話相談を平成28年12月1日に開設し、女性支援活動員が2名体制による無料電話相談を実施した。</p> <p>イ 面接相談 電話相談等で面接相談が必要と判断した被害者等に対し、面接相談を実施して相談を受けるとともに、被害者に最適な専門的援助方策や解決策を共に考えるなどのサポートを行った。原則2名体制で対応</p> <p>75件 (-13件)</p> <p>ウ メールによる相談 平成29年12月25日からメールによる相談を開設した。</p> <p>相談件数499件 別紙のとおり (前年度523件) 前年比-24件 転送電話件数 長岡～30件 上越～4件</p> <p>相談件数867件 別紙のとおり (前年度621件) 前年比+246件 内 夜間・休日件</p> <p>相談件数31件 別紙のとおり (前年度43件)</p> <p>ワンストップ支援センター 別紙のとおり 相談件数44件 (前年度45件)</p> <p>相談件数25件 (前年度40件) 性被害15 ストーカー1 詐欺1 その他8</p>	
(2) 犯罪被害者等への直接支援事業	<p>面接相談等で支援が必要と判断した被害者等に対し、裁判所、弁護士事務所等への付添い、及び必要により臨床心理士によるカウンセリング、産婦人科医診察等の直接的な支援を行った。</p> <p>支援件数157件 別紙のとおり (前年度 160件) 裁判関連34件 弁護士相談41件、心理相談3件 (前年度 裁判関連40件 弁護士相談38件、心理相談1件) 県警からの情報提供受理件数14件(前年度11件)</p> <p>ワンストップ支援センター 支援件数117件 別紙のとおり (前年度 60件) 裁判関連3件 弁護士相談 19件、病院付添い23件、心理相談14件 産婦人科診療 7人7件</p>	
(3) 犯罪被害者等自助グループへの支援事業	<p>5月14日、6月11日、 7月9日、9月17日、 10月29日、3月10日 (13:30～15:30)</p> <p>新潟ユニゾンプラザ[※]</p> <p>同じような辛い体験をした被害者同士が互いの体験を語り、感情を分かち合う自助グループの支援を行った。</p> <p>参加人員30名 内訳別紙のとおり (前年度 12名、+18名) 本年度は、自助グループ活動にフラワーアレンジメント教室を取り入れたところ参加者が大幅に増加した。</p>	

(4) 犯罪被害者等給付金裁定申請手続補助事業	
申請者の負担軽減のため、複雑な犯罪被害者等給付金申請手続きを補助。	支援件数 0件 (前年度 0件)
(5) 犯罪被害者等の支援に関する広報・啓発事業	
ア 広報紙を発行し、支援センターの活動内容等を県民に周知広報するとともに社会全体に被害者支援の輪を広げる活動を推進した。 ・広報紙「支援センターだより」年2回発行	・8月 No.34 6,000部発行 ・3月 No.35 6,000部発行
イ リーフレット等の広報資料の作成・配布及び各種イベント、公共交通機関、県内各市の広報紙等を利用した広報媒体等により、支援センターの相談窓口や活動内容等について広報啓発活動を行った。 ・各種イベント時における広報活動 ・県内各市町村広報紙を利用した広報	・リーフレット2,000部作成 ・イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン等における広報活動4回実施 ・新潟市
ウ ・小学校1年から高校3年、特別支援学校全員に性暴力被害者支援カードを作成配布し広報に努めた。(小学校低学年用、小学校高学年用、中学生用カード、高校生用カード計4種)	・性暴力被害者支援カード 小学生向け、中学生向け、高校生向け等 4種類 合計270,000枚 作成・配布した。
エ ホームページをリニューアルし、分かりやすく、必要な情報を発信するように努めた。	・ホームページ閲覧件数 トップページ 66,825件 (+2,734件) 全コンテンツ 129,148件 (+31,494件)
オ SNS(Twitter、line、Yahoo!フランドパネル)を活用した広報を推進しホームページの閲覧につなげた。	・いがた被害者支援センターの周知 (Yahoo1回、LINE1回) ・性暴力被害者支援センターにいがたの周知 (Yahoo1回、LINE1回) ・Twitterツイート回数 12回
カ ・バス車内放送を活用した広報に努めた。 ・電車出入口脇に広報ポスターを掲示し広報に努めた。	新潟交通 上所、水島町線 JR東日本県内各路線
キ 内閣府設定「犯罪被害者週間」に県民の被害者支援意識高揚のため、「犯罪被害者週間新潟大会」を開催した。 「犯罪被害者支援フォーラム2023inにいがた」の共同開催 主催:県、県警、当センター 開催日 11月25日(土) パネル展示及び被害者遺族手記集、機関紙、リーフレット等 配布	・被害者支援フォーラム 会場:新潟ユニゾンプラザ多目的ホール 講演:途切れない支援の重要性 講師:土師 守 警察音楽隊ミニコンサート、作文朗読 参加人員 280名 ・新潟県犯罪被害者支援条例に基づき11月を被害者支援を考える月間と定め同月間中に県内市長村において縦断パネル展実施 (新潟市、魚沼市、妙高市、新発田市、阿賀野市、五泉市、見附)
ク 関係機関団体と連携し、当センターの活動内容等をパネル展示を実施し広報に努めた。	・パープルライトアップ作戦 新潟県女性財団主催の女性に対する暴力をなくす運動週間に合わせ協力団体として11月11日から同月17日までの間ユニゾンプラザにおいてパープルライトアップしたパネル展実施
ケ マスメディアを利用してセンターの広報に努めた。	・被害者支援センター 新潟日報広告掲載 2回 ・ワンストップ支援センター 新潟日報広告掲載2回 ・NHKラジオ 年間ランダムに広報
(6) 相談員・直接支援員の育成及び研修事業	
ア 被害者支援に関わる分野の講師を招いて、継続研修及び直接支援研修を実施し、支援活動員の質的向上を図った。	・継続研修 毎月1回 年11回実施 延べ244名受講 ・直接支援研修 6回実施 延122人受講 新潟ユニゾンプラザ

<p>イ・全国水準の支援活動を行える支援活動員を育成するため、全国被害者支援ネットワーク主催の各種研修会に参加した。</p>	<p>・10月13日～10月15日 全国フォーラム2人・秋期全国研修会5人 ※ 警察庁、全国被害者支援ネットワーク理事長連名の功労団体 表彰を受賞した。 ・9月2.3日 質の向上研修上半期研修会2人参加 R6年2月3.4日 質の向上研修下半期研修3人参加 <small>群馬県信越ブロック支援センター等との連携</small></p>
<p>4 その他</p>	
<p>(1) 他機関等との連携等</p>	
<p>ア 全国ネットワーク、他県センターとの連携</p>	<p>・4月18日 全国事務局長会議 ・10月6日 関東甲信越ブロック事務局長会議(栃木県) ・12月16日 性暴力ワンストップ支援センター関東近郊連絡会(栃木県)</p>
<p>イ 県弁護士会、被害者支援室、法テラス意見交換会開催</p>	<p>・12月12日 21名出席 ユニゾンプラザにてハイブリット開催</p>
<p>ウ 県臨床心理士会との意見交換会の開催</p>	<p>・令和6年1月20日20名出席 新潟ユニゾンプラザ</p>
<p>エ 県産婦人科医会との連携</p>	<p>・性犯罪被害者の医療機関受診7人延べ7回 ・協力医療機関リストを協力医療機関及び各種広報活動時に配布し連携に努めた。</p>
<p>オ 新潟県被害者支援連絡協議会</p>	<p>・11月30日 定期総会～理事長、事務局長参加(10月11日、性犯罪専門部会 事務局長参加)</p>
<p>カ 新潟県配偶者暴力防止連絡協議会</p>	<p>・2月1日 支援局次長参加</p>
<p>キ 新潟県困難な問題を抱える女性への支援計画策定委員会</p>	<p>・11月27日 支援局次長参加</p>
<p>ク 県警察職員研修講演</p>	<p>・10月31日 被害者支援専科教養</p>
<p>ケ・犯罪被害者等支援関係講演</p>	<p>・7月6日 保護司指導力強化研修会講演 ・7月12日 新潟少年学院職員研修講演 ・7月21日 新潟刑務所被害者担当官研修講演 ・7月29日 新潟市産婦人科医会学術講演 ・8月23日、30日、9月1日 市町村担当者会議講師 ・9月14日 長野市企業人権教育推進協議会講演 ・10月17日 新潟地区被害者支援連絡協議会講演 ・11月12日 新潟中央地区保護司会市民集会講演 ・11月27日 南魚沼署被害者支援連絡協議会講演 ・令和6年3月1日 新潟市犯罪被害者等庁内連絡会議講師 ・令和6年3月4日 三条地区保護司会研修講演 ・令和6年3月6日 新潟中央地区保護司会自主研修会講演</p>
<p>コ 市町村犯罪被害者等支援条例制定に向けた取り組み</p>	<p>・県、県警、当センターの共同による市町村特化条例担当者への研修(上・中・下越地区各会場)実施</p>
<p>サ 犯罪被害者等支援功労知事表彰</p>	<p>・11月5日、犯罪被害者支援フォーラム2023inにいがた会場において、当センター中曽根理事が新潟県知事表彰受賞</p>
<p>(2) 管理運営等</p>	
<p>ア 会員及び賛助会員の状況</p>	<p>・3月末現在正会員数 5年度個人68人 団体7団体(前年度個人60人、団体8団体) ・3月末賛助会員数 本年度 個人905人 団体220 (個人141人・警察764人、団体80・警察140) 前年度 個人917人 団体222 (個人135人・警察782人、団体72・警察150)</p>

イ 被害者支援自動販売機設置状況及び寄付受入状況	<ul style="list-style-type: none"> ・受取寄付金額16,084,075円(前年度23,691,634円) ・うち寄付金付自動販売機寄付 8,381,936円(前年比+1,298,615円) 3月末現在設置台数167台 前年度163台 民間76台、県警64台、行政23台 ・うち多額寄付6,053,748円
ウ イオン幸せの黄色いレシートキャンペーンによる寄付	<ul style="list-style-type: none"> ・5月9日、10月24日に受領 寄付金総額 47,000円(前年比+4,800円)
エ ホンデリングによる寄付	<ul style="list-style-type: none"> ・22件(前年比+9件) 寄付金額 38,775円(前年比+13,108円)
オ 社員総会、理事会	<ul style="list-style-type: none"> ・4月23日 第1回定時理事会 令和5年度事業報告、決算報告 総会に付議する事項 ・5月24日 定時社員総会・第1回臨時理事会 令和5年度決算報告 役員選任 ・10月下旬 第2回定時理事会 職執行状況報告 ・3月下旬 第2回臨時理事会 令和5年度事業計画、予算
カ 五役会議(その都度)	<ul style="list-style-type: none"> ・理事長、専務理事、中曾根理事、支援局長、事務局 長 による運営等検討会 4月20日、5月22日、6月30日、10月24日、3月12日

令和5年度事業報告 付属明細書

令和5年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律」施行規則第34条第3項に規定する付属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しません。